２月号　令和５年１月２５日　発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
℡(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像
生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

２月を迎えて

校長　稲泉　功

ふれあいガーデンでは、センダンの木が白い実をつけ冬化粧しました。

先日１月２０日は大寒で、文字通りこのころが一年中で最も寒いとされており、ここのところ本当に肌身にしみるような気候が続いております。来週は、早いもので２月となります。２月は、春立つ月、春の始まりです。春の語源は、「草木の芽がハル（張る＝ふくらむ）」頃だから、「晴れの日が多いからハル（晴る）」などの説があるそうです。２月は陰暦で「きさらぎ」と言い、植物が生き返り、よみがえると言う意味もあります。冬の寒さにじっと耐えていた万物が、春の陽気に包まれ元気に活動し始める頃が立春にあたります。この立春をもって春になるとされていて、立春の前日を「節分」と呼んでいます。これもまた文字通り、季節を分けると言う意味で、以前は春夏秋冬を分けるという意味があったそうですが、今は立春の前日だけ、「節分」と言うようになりました。節分では、「鬼は外、福は内」と言って豆を蒔きますが、大豆は、栄養価が高く、健康・幸せを呼ぶ縁起物として扱われたからだそうです。節分の大豆を、年の数だけ食べると健康で幸せになるとも言われています。

さて、２月は節分・立春を迎え「春」とはいえ、一段と気温が低い日が多いこの時期、新型コロナウイルス感染症対策、インフルエンザ対策にも一層注意をしていかなくてはいけません。そのような中、３年生は、受験があります。２年生はスキー教室が目前に迫ってきました。１年生は、いよいよ社会体験事業が始まります。２月３日の節分には、豆まきをして、幸福を呼ぶとともに、豆をしっかり食べて、健康を維持したいものです。

１年生の社会体験事業は３年生の修学旅行と同様、３年ぶりの実施となります。明後日の１月２７日（金）には、お世話になる各事業所への事前訪問を控えています。社会体験事業は、学校教育の一環として、地域の協力を得て、職場体験など様々な体験活動を行うことにより、望ましい職業観をはじめ、他者とのかかわりや思いやり、社会のルール等を学び、主体的、創造的に生きていくことができる資質や能力を育成することを主眼としています。ところで、春の語源に続けて、「働く」という言葉の語源はどこから来たのでしょうか。一説では、「ハタ（周りの人）」を「ラク（楽）」にすることということですが、昔の人は上手な言い方をしますね。働くとは、人のために尽くすことであり、社会に貢献することです。各事業所で得た経験は、かけがえのない体験となります。ぜひ精一杯、がんばって欲しいと思います。